

## 第4回 町田市成瀬センター建替検討委員会

### 会議録要旨

開催日時：2012年2月2日(木) 18:00～20:00

開催場所：町田市民フォーラム 4F 会議室

出席委員：前島正光、中里孝夫、稲木健志、鈴木生一、田中米司  
井上祐次、萩原勝生、市川豊、赤澤純、伊藤倭子(敬称略)

市側出席者：落合市民協働推進担当部長、河野市民部次長  
大谷市民協働推進課長、三好市民総務課担当課長  
渋谷営繕課営繕第一係長、藤原市民総務課担当係長  
服部市民協働推進課担当係長

コンサルタント：湯田元就、塚田哲史

傍聴者：無

#### 《次第》

1. 開会
2. 市民部長挨拶
3. これまでの検討の再確認
4. 成瀬センターづくり会議で出た主な意見
5. 議題
  - ①成瀬センター諸施設等の配置に関する検討
  - ②成瀬センター建替基本計画(案)に関する検討
6. 連絡事項
7. 閉会

#### 《配布資料》

- 【資料1】 第3回成瀬センター建替検討委員会会議録要旨
- 【資料2】 成瀬センターづくり会議ニュース第4号
- 【資料3】 成瀬センターづくり会議ニュース第5号
- 【資料4】 成瀬センター概略平面図(A案・B案修正後)  
成瀬センター概略断面図(B案修正後)
- 【資料5】 成瀬センター建替基本計画(案)

## 1. 開会

事務局の進行により開会。

## 2. 市民部長挨拶

(市民協働推進担当部長)

昨年の10月に第1回建替検討委員会が開催されてから5ヵ月、年をまたぎ第4回の本日が最終回となる。皆様にはこの間、多岐にわたる貴重なご意見やご指摘をいただき感謝している。また成瀬センターは耐震診断の結果が思わしくなく、2月から施設の利用予約を中止しており、その関係で今回は会場が変更となり、遠いところお越しいただくことになり感謝している。

皆様のご協力で本年度に策定する建替基本計画を基に来年度から基本設計と実施設計を進めていき、最終的には2015年の秋に新しい成瀬センターのオープンを目指している。本日は最終回ということで、建替の基本計画案を固める重要な委員会となる。限られた時間ではあるが、よろしくご審議いただきたい。

## 3. これまでの検討の再確認

事務局から【資料1】「第3回成瀬センター建替検討委員会会議録要旨」を説明。

## 4. 成瀬センターづくり会議で出た主な意見

事務局から【資料2】「成瀬センターづくり会議ニュース第4号」を説明。

事務局から【資料3】「成瀬センターづくり会議ニュース第5号」を説明。

(事務局)

成瀬センターづくり会議ニュース第4号は、第3回成瀬センターづくり会議(市民ワークショップ)で出された要望を取り入れた二通りの概略平面図(A案、B案)についてグループ討議をした際の意見を掲載している。建物配置や施設機能について検討した結果、会議全体を通してグラウンドに面して建物を配置するB案の方が多くの方から支持される結果となった。

成瀬センターづくり会議ニュース第5号(最終号)は、第4回成瀬センターづくり会議の意見を反映し、修正した概略平面図B案を提示し、修正点に対する意見や今後施設を利用することを想定した各部屋の活用イメージなどの討議結果を掲載している。

(委員長)

説明のあった資料の詳細については後ほど各自読んでいただくこととしたい。

## 5. 議題

### ①成瀬センター諸施設等の配置に関する検討

(委員長)

今日は最終回となるので、委員会としての結論をしっかりと出していきたい。資料4の概略平面図や、資料5の建替基本計画案を見ながら議論を進めていく。前回(第3回建替検討委員会)で配られた平面図 A 案、B 案は、その場で全てを議論することが難しく、持ち帰って各自検討して欲しいと宿題をお願いした。今日は皆様からご意見をいただきながら進めていきたい。成瀬センターづくり会議では B 案が強く支持されたという報告を受けているが、建替検討委員会の総意として A 案と B 案のいずれが良いのか結論を出したい。

(委員)

B 案が良いと思う。ただし、北側の出入口が問題と感じる。建物全体を北側の道路方向へずらして出入口を無くしてもよい。現在の出入口と比べて道路との高低差が出てしまうことが心配である。ただし自転車や歩行者の通路としてなら問題ない。また二宮金次郎像、旧南二小校門等の移設を希望する。

(委員長)

二宮金次郎像、旧校門については図面上で移設されていることが確認できる。成瀬街道側に残す案となっているようだ。北側出入口の高低差については図面ではスロープを設けて対応している。

(委員)

1 年を通して考えると B 案が良い。南側がグラウンドに面して採光性が良い。防災面でも利点を感じられる。自動車の出入口については裏通りが鎌倉古道で若干狭いところがあり心配だが、解決可能な範囲と考える。

(委員)

B 案は駐輪場と駐車場を離して計画しているが、一緒に配置した方が良いのではないか。

(委員長)

A 案の駐輪場は車の前を通らないと自転車をとめることができない。B 案は入口から車と分離されることにより安全性が向上すると考えることができる。

(委員)

施設全体を見ると B 案の方が使いやすく、駐車場とグラウンドのバランスがとれている。人が出入りしやすく防災上望ましい。A 案は旧校舎棟と同じ配置で入口が一つしかない。

(委員長)

建物の配置として自然なのは B 案であろう。駐車場スペースが建物を介してグラウンドと分かれている。A 案は駐車場とグラウンドが隣り合わせになっているため、車の動線と人の動線が重複する可能性がある。ただし建物がコンパクトにまとまるのは A 案である。逆に言うと伸びやかさが無い。部屋として空間を作る時に B 案の方が作りやすい。A 案では建物を建てるスペースが全体的に限られてくるため、上に積んでいくしかない。成瀬センターづくり会議において B 案はグラ

ウンドが狭くなるというコメントがあったが、B 案の図面を見ると、大きいグラウンドと小さいグラウンドに分けて使えるように計画されており、プラス面も考えられる。

(委員)

B 案は駐車場へ複数のルートから入れるメリットがある。A 案では成瀬街道からの入口が使えず無駄になっている。

(委員長)

その通り。A 案の北側出入口は車だけでなく人も入ってくる。人と車が一緒になってしまう危険がある。

(委員)

B 案は災害時にグラウンドと駐車場がそれぞれ独立して使える。

(委員長)

B 案の北側の出入口は入場のみにして、西側を退出のみと決めると安全で良い。

(委員)

B 案で良いと思う。ただし、前回の会議で成瀬街道側にある2台の業務用駐車場からホールへの通路は狭くて段差があるため荷物の搬入が困難であると指摘した。ホール東側(グラウンド側)に車をとめられるようにしてはどうかとの意見を出したが図面では確認できない。

(委員長)

図を見ると搬入口については従来と変わっていない。今までグラウンド側から大きな荷物をホールへ搬入するという事例はあったか。

(事務局)

和太鼓を利用する団体がグラウンド側から搬入している。また、センター祭の際に高校のブラスバンドが荷物を搬出入する機会がある。業務用駐車場から大きな物を控室へ運ぶのは困難である。

(委員長)

ホールの東側の搬出入ルートは重要となるようだ。

(委員)

全体的な外観や採光等を考えると B 案が良い。文庫・キッズエリアを設けていただき非常にありがたい。しかし、子供たちの立場からすると、自然の光や日当たりの観点から文庫・キッズエリアの位置が望ましくない。できれば入口から離れた安全なデッキのそばに変更するのはどうか。

(委員長)

文庫・キッズエリアについては、利用者や管理者から見える場所が安全と考えてこの場所に持ってきたように思う。日当たりを望むのであれば、南に面しているフリースペースを有効に活用するのはどうか。

(委員)

図面の位置だと入口が近くて子供が飛び出したりして危険ではないか。

(委員長)

それに関しては部屋の配置ではなく文庫・キッズエリアの作り方によって変わってくる。

(委員)

地域活動室の配置場所が優遇されているように見える。毎日、誰かがいるような使われ方となるのか。

(事務局)

常駐する方向で進めている。

(委員)

かえで文庫はボランティアで運営している都合上、週に2日しか開かれていない。地域活動室に人員が配置されるのであれば、図書室として運営をしてもらうことはできないか。

(委員長)

再度、地域活動室の役割について説明をして欲しい。

(事務局)

地域活動室は町田のまちづくりを進める上で地域の拠点として非常に重要な部屋である。地域の課題について地域の方々が話し合いを行う場、解決策を検討する場である。色々な活動団体、例えば介助の活動をしている団体や子供の教育に関する団体等を結びつけ、それを必要とする人達のところへ紹介する。地域の課題を地域の方々が解決していける道筋をつける場として、常設でいつも誰かがいる状態を目指している。町内会・自治会、民生委員、青少年健全育成地区委員、子供会、PTA、老人会、防犯防災組織、地区社協など諸々の団体の方々が高ヶ坂・成瀬地区の問題について整理して、解決策を検討する場所である。そこにいる人たちに図書館的な役割をこなしてもらうのは難しいと考える。地域活動室はまだ動き出していないため、今のところ絵に描いた話でしかないが、今申し上げたような考え方でこれから実体を作っていく。

(委員)

地域活動室の隣に文庫を配置した場合、玉川学園文化センターや忠生市民センターのように市職員が対応することができるか。

(事務局)

地域活動室は市職員ではなく、高ヶ坂・成瀬地区の方が活動する場所となる。

(委員長)

地域活動室の実体はこれからはっきりしてくるが、地域のことは地域で考えるということがベースとなるようだ。それを市がサポートする。その拠点が成瀬センターの中に配置される。

(委員)

町内会・自治会として、人が常駐する体制が理想と考えるが、実体はこれからの検討事項だと思っている。

(委員長)

文庫・キッズエリアが B 案の配置にあることの優位性はロビーに近いことである。ロビーは社交場的な場所であり、そういった場所に子供がいることが良い効果をもたらすのではないか。ホー

ルで何か活動する時に子供たちが参加できる機会も増える。なお諸室の配置については次年度に基本設計で具体的な検討がなされ、整理できると考えている。

(委員)

せっかく建替えるのであれば、周囲から一見して新築とわかる B 案の方が良いのではないかと。駐車場とグラウンドを分けられるのも良い。小さいグラウンドがある点も、ゲートボールで利用したり、子ども達がバスケットで遊べたりする良い案である。今まではホールがメインの施設のように見えていたが B 案では施設全体がバランス良く見える。

(委員長)

A 案はホールの裏側に建て替えるイメージが強い。新築されたという感じではない。そのような観点では B 案の方が良い。

(委員)

基本的には B 案が良い。キッズエリア、フリースペースについて、昨年の基本方針では「開かれた、誰でも立ち寄れる成瀬センター」となっている。その意図から考えると地域活動室の必要性は理解できるが、フリースペースや文庫・キッズエリアをメインにすべきである。このあたりはもう少しつめる必要がある。

(委員)

地域活動室は2階にあっても良いのではないかと。

(委員)

「事務室、地域活動室」と「文庫・キッズエリア、倉庫」の組み合わせを逆転させた方が良いのではないかと。フリースペースは誰でも集えて、子供がいて、本もあるというイメージがある。文庫・キッズエリアを近接させて、その繋がりを持たせることが重要ではないかと。

(委員長)

地域活動室と文庫・キッズエリアを入れ替えるとフリースペースが活用できる可能性がある。その点については基本設計の段階で更に検討する。デッキはグラウンドと建物の緩衝地帯として配置されていて、ちょっとしたミーティングができるスペースというイメージである。これらについては現在の基本計画案の段階から設計者が決まって検討が進んでいくとかなり変わる部分があるかもしれない。

(委員)

私は A 案に魅力を感じる。センター祭でホールを使って発表会を行う時に多目的室で練習や着替えをしてホールへ移動することを考えると A 案の方が距離が短くて良い。トイレの場所もホールから近くなっている。駐車場の並びも A 案の方が使い易いのではないかと。

(委員長)

センター祭の時に多目的室は主にホールの控室として使われることになるのか。

(委員)

練習室や控室として利用する。

(委員長)

B 案では音楽室と和室がホール付近に配置され、同様の役割を受け持つことができる。

(委員)

A 案に固執する訳ではないが、B 案では現在グラウンドになっている場所に建物が配置されることになる。そうすると北側の道路を挟んだ向かいのアパートに建物が接近するが、日陰になったりはしないか。

(委員長)

法的な日照時間の規制については問題ない。あとは感情的にどう受け取るかとなる。アパートに近い部分には、多目的室が並んでいること、また2階に会議室や工芸室があり、これらは比較的音を出さない活動で利用されること、またホールや音楽室と距離があることは遮音の面から有利であると感じる。建物全体が伸びやかに見えて、新しいセンターが出来たという印象では B 案が良い。また、建物自体が完成した際に B 案の方が落ち着いて見えるのではないか。設計にもよるがフリースペースや2階ロビーなどは光と風を感じる明るい場所になるのではと期待が持てる。

(委員)

B 案のグラウンド部分が話題になったが、グラウンドは普段どのような目的で利用されることが多いのか。

(委員)

幼稚園や保育園の運動会、ブラスバンドの練習、ゲートボールがある。

(委員)

あまり利用されていないように見受けられる。

(委員)

グラウンドのみの貸出は行っているか。

(事務局)

グラウンドの貸出は正式には行っていない。実際に常時利用いただいているのがゲートボール。あとはセンター祭りの盆踊り等に利用される。その他は空いている時に子供達がキャッチボールやサッカーなど自由に利用する。保育園からホールで行事を行った後にグラウンドを貸して欲しいと問い合わせを受けたことはある。利用度はあまり高くないと言える。

(委員長)

常時空けておくのはもったいない。積極的な利用を考えていきたい。

(委員)

遊具等を備えて子供が自由に遊べる広場にすると良いとの意見が以前に出ていたと記憶している。周辺で子供が自由に遊べる場所がないので、そのようなスペースを確保するのが良い。

(委員)

あおぞら学童保育クラブがあった頃は毎日のようにグラウンドは利用されていた。

(委員長)

グラウンドについては利用の拡大を図ったほうがよい。建物の配置案に話は戻るが、B案は入口が2ヶ所あり、駐車場側の出入口はエントランスの形状が雨の日でも使い易くなっている。

(委員)

地域活動室を2階に移動するという考え方はどうか。

(事務局)

場所に固執するつもりはないが、活動しやすい場所、集まりやすい場所という点では1階の方が望ましいと考えている。

(委員)

1階への配置の方がベターである理由が理解しにくいのは、どのような活動をする部屋なのかイメージが湧かないからかもしれない。

(委員)

現在、市長が市内の各地域に行き座談会やミニ懇談会を開いている。そのような会議を開くにも必要であること等、まだまだ地域活動室の使い道は広がっていくと考えている。

(委員)

1つ申し上げたいが、グラウンド周囲の緑地帯は必要無い。安心安全の面から現状の方が、見通しが良くて好ましい。また手入れに費用がかかり、植栽部分にゴミが捨てられる恐れもある。

(委員長)

植栽については色々な意見が出ると考えている。緑の効果は視角的な効果の他に防火、防音などの重要な役割をもっている。防犯については見通しの良い低木等を選定することで懸念を解消できるのではないかな。

(委員)

キッズエリアに隣接する倉庫は防災用倉庫として利用し、多目的室側の倉庫はセンター祭の物品を収納するスペースと考えてよいか。

(委員長)

使用用途は詳細には決めていない。基本設計段階で検討する項目となろう。キッズエリア側の倉庫は外からも搬入が可能な設定をしている。多目的室側は内部で利用する倉庫という想定である。

(委員)

地域活動室は利用されていない時間帯に他の用途に活用できないか。

(事務局)

地域活動室は運用が始まると、ほぼ常駐型になると予想している。事務局的な役割をする方を配置する予定である。多分部屋が空くことはないと思う。

(委員長)

様々なご意見をいただいたが、集約するとA案よりもB案が良いという意見が多い。建替検討委員会としてもB案が良いという方針とする。



## ②成瀬センター建替基本計画(案)に関する検討

(委員長)

続いて資料5の成瀬センター建替基本計画(案)を確認したい。この資料が建替検討委員会としての報告書であり成果品となる。「第1章基本計画の位置づけと目的」「第2章基本計画検討の前提条件」については、この場で検討すべき内容ではないため審議は行わない。本日の検討は「第3章成瀬センター建替の検討」「第4章建替基本計画」「第5章基本設計・実施設計で検討すべき特記事項」について行う。

(委員長)

まず「第3章成瀬センター建替の検討」について確認する。

エントランスに関する説明文(P18)は修正が必要である。出来るだけ明るく広い空間にすることとし、入館者をきちんと確認できるように計画する。展示スペースの配置に関する説明文(P19)に「リサイクルコーナー」とあるが、この項目は検討委員会では議論を行っていない。リサイクルコーナーと限定するのではなく文言を工夫したい。多目的室に関する説明文(P19)の「現状」という表現が曖昧なので整理が必要である。今回の計画では多目的室をしっかりと特長づけている。音楽室はホールが使えない時に代わりに使える部屋を想定している。また、音響的にもある程度設備が準備されていると活動の幅が広がる。ホールの防音に関する説明文(P19)については防音だけではなく遮音、吸音についてもしっかりと対応すべきである。

(委員)

多目的室に音楽的な活動に対応できる要素を入れたことは良い。

(委員長)

施設の特徴を明確にするのは良いことである。建替検討委員会や成瀬センターづくり会議、利用者アンケートで出た意見をしっかりと整理して基本計画に活かしたい。

続いて「第4章建替基本計画」について確認する。「駐車場・駐輪場を十分に確保する(P23)」との表現を「駐車場・駐輪場を出来る限り多く確保する」に修正する。「建物の十分な耐震性を確保する(P23)」については構造体以外の内装等の耐震性も必要であることに注意が必要である。また「備蓄倉庫の充実を図る(P23)」を「備蓄倉庫を出来る限り広く取るよう配慮する」との表現に修正する。また何を倉庫に入れるのかを明確にすることも設計段階でしっかりと議論を行うべきである。「周辺に調和した建物(P23)」との考え方は重要な考え方である。「10人超(P25)」との表現を「10人程度」に修正する。

(委員)

「経スポーツ(P25)」は「軽スポーツ」ではないか。

(委員長)

いくつか修正が必要な箇所があるようなのでご指摘いただきたい。27ページの表は内容に若干無理があるようだ。表中の「軽スポーツ」とはこれまでの会議では卓球が想定されているが「軽体操」は使い方として何が想定されるか。

(委員)

太極拳やヨガが想定される。

(委員長)

同じく「交流・休憩・雑談(P27)」とあるが雑談という表現を工夫したい。何か付け加えるべき活動があれば指摘して欲しい。表中の「市民協働」とはどのような意味か。

(事務局)

地域活動と捉えるとよい。

(委員長)

B案の計画では壁構造ではなくラーメン構造(柱と梁でつくられる構造)が妥当である。「コスト効率」との表現があるが、経済設計はしっかりと行うことを文章に盛り込んでいくとよい。地震対策は建物の構造体だけではないことを付け加えたい。例えばガラスが割れてケガをすることが多い。設備・配管への配慮も必要かもしれない。このようなことも耐震対策である。空調設備については、個別空調、部屋ごとにコントロールできる手法の方が経済的である。電気設備に関しては、監視カメラによる出入口の管理を付け加えたい。ところで衛生設備の記載が抜けている。トイレや流しについては省エネルギータイプを導入し、メンテナンスし易い配管計画とする。

(委員)

監視カメラについて表現を安心・安全カメラとしたほうがよい。

(委員長)

31 ページで触れられていない項目に屋上の取り扱いがある。屋上を利用して太陽光発電を取り入れたり、屋上緑化をすることで断熱効果を期待することができる。屋上に全く利用者を入れないか、もしくは積極的に利用してもらおう考え方を採るかご意見をいただきたい。

(委員)

安全面を考えると屋上に人を入れるべきではない。グラウンドだけでよいと思う。

(委員)

緑化という観点で屋上を利用するのは良い。夏期に空調が効きやすい。

(委員)

緑化は絶対に必要である。自然エネルギーの利用も絶対条件である。太陽光パネルを採用し、出来るかぎり発電する。また、それ以外の部分については緑化を行い断熱する。できれば壁面緑化を考えても良いのではないか。

(委員長)

今の世の中の流れからすると屋上緑化は当然と思われる。それなりの手間はかかるがランニングコストの削減に効果的である。壁面緑化についてもかなり研究されている。成瀬センターはこれから計画して建てる建物なので50年60年耐え得る先を見越した想定をしなければならない。また、本文の中でユニバーサルデザインという単語はあるが身障者対応の表現が少ないので加えるように工夫した方がよい。サイン計画も重要である。施設の正面と裏の出入口の両方にしつ

かりと案内板を配置することを加えたい。

(委員長)

次に「第5章基本設計・実施設計で検討すべき特記事項」について確認する。  
フェンス(P32)については老朽化している部分があるので全面的な張替を行いたい。グリーンベルト(P32)の記載については、何故グリーンベルトを導入するのか具体的な理由を加えたい。建物のデザイン(P33)についての記載は慎重に行いたい。既存のホール棟および周辺環境や都市景観をしっかりと配慮した上で設計すべきである。ホール棟落成記念樹(P33)とあるが樹木は何か。また移植できるのか。移植は樹種や大きさによるところがあり、本当に移植が妥当であるか検討したい。ロビー・フリースペース(P34)についてはPC利用に必要なインターネット環境の整備も明記する。ホールの改修(P36)については、もう少し明確に記載を行いたい。内装は全てやりかえる。壁の吸音についても記載をする。空調の改善についても明確な記載を行いたい。

最後の「第6章事業推進に向けて」は事業スケジュールや工事費に関する事であり、市と協議が必要となるため私にお任せいただきたい。また計画書全体についてはまだ表現方法など修正が必要であると思われる。細かい修正については私に一任させていただきたい。

(委員一同)

了解した。

(委員)

最後に確認したい。B案の建物配置となった場合、グラウンドに埋設された応急給水槽の配管経路に支障が生じないないか。

(事務局)

建物を避けるように配管の切りまわしが可能なのか東京都水道局に確認した。配管の移設は可能であり、東京都の予算で工事を行うとの回答であった。

## 6. 連絡事項

(事務局)

基本計画策定までのスケジュールについてお伝えしておきたい。本日も確認いただいた建替基本計画(案)を議題として2月14日に市役所の関係各課による連絡調整会議を開催する。そこで最終的な意見を取り込みながら事務局で必要な修正を加え、基本計画書としてまとめていく。当検討委員会の皆様には、建替基本計画書が製本された際に1冊ずつお送りする。なお、本日の会議でお気づきの点があれば2月10日までに市民総務課へご意見等をお寄せいただきたい。

## 7. 閉会

事務局の進行により閉会。

以上